

文部科学省産学官連携戦略展開事業（戦略展開プログラム）

首都圏北部4大学連合（4u）運営協議会

平成21年度推進体制について

4月1日付けで、首都圏北部4大学連合（4u）運営協議会委員が替わり、新体制で平成21年度の事業推進を行います。そこで、主査・副主査の方々に方針等についてお話いただきます。

運営協議会主査 和泉孝志（群馬大学理事・副学長）



首都圏北部地域は全国有数の工業出荷高をもつ産業集積地域です。4大学が連携し、スケールメリットを生かした多角的な知的財産・産学官連携活動を行うことを目指した4大学連合産学官連携戦略推進事業（4uプロジェクト）が昨年6月に文部科学省に認められて、本協議会がスタートしました。今年は5年間の4uプロジェクトの2年目にあたります。大学には知的財産を創出し社会に活用することが求められていますが、昨年来の未曾有の経済危機にあって、大学が社会の中でどのような役割を果たすべきかがあらためて問われると思います。国は補正予算などで、産学官の連携活動を支援しようとしています。群馬大学は地域の産業界・自治体と智恵を出し合っ、この状況をチャンスと捉え、新しいモデルを提案し実践して行く覚悟です。本協議会の活動へのご支援を心からお願い申し上げます。

運営協議会副主査 松田智明（茨城大学理事・副学長）



首都圏北部4大学連合（4u）の活動が活発化し成果が見えてきました。4つの分科会には着実にそれぞれ特色ある取り組みを進めており、成果が期待されます。事務局、連携コーディネーターをはじめご協力、ご支援をいただいている4大学の教職員の方々に敬意を表します。

茨城大学では、トピック報告にもありますように、「産学官連携」が今後ますます重要なキーワードになるとの確信から、5月1日に「産学官連携イノベーション創成機構」を開設いたしました。4uの活動にも新体制で一層の協力をして参ります。今後とも引き続きご支援をお願いいたします。

運営協議会副主査 馬場敬信（宇都宮大学理事・副学長）



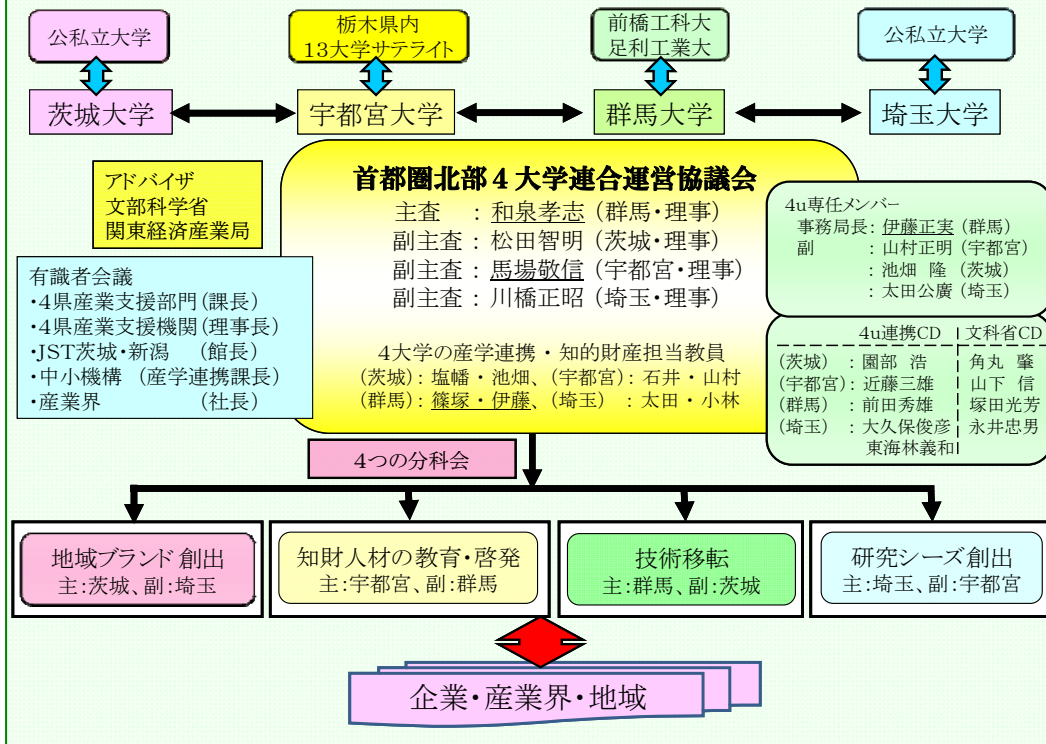
4u事業の目的は、首都圏北部4大学が各大学の特色を生かした取組によりシナジー効果を発揮して地域の活性化に資することです。この基本認識に立ち、本学では農商工連携や光技術を重点テーマとして地域と連携した取組を行い、研究成果を産業界に普及させるために、基礎的研究とともに、実用化のための研究開発の支援を図ります。また、本学が主担当になっています「知財人材の教育・啓発分科会」では、知財マインドの高い人材を育成するため、地域企業の技術者を主対象として、「知財実践セミナー」を昨年に引き続き開催するとともに、本学の客員教授陣による「弁理士チャレンジ講座」を企画します。今後ともご支援いただきたくよろしくお願い申し上げます。

運営協議会副主査 川橋正昭（埼玉大学理事・副学長）



首都圏北部4大学による産学連携推進事業も2年目となり、正念場を迎えつつありますが、これまでのコーディネータの方々を中心とする取組みの成果が目に見える形で現れてきていると感じています。しかし、産学連携の全般的状況は、まだまだ越えなければならぬ幾つかの山があるように思います。産および学の両者に、産学連携の本質を深く理解している部分があるなかで、いまだに一方的な幻想の中で産学連携をとらえている部分があり、それが産学連携の進展を阻害していると感じます。これを克服して、産学連携が社会の発展に真に貢献できるようになるには、まだ少し時間を要すると思います。2年目の本事業推進にあたって、副主査の一員として地道な努力を重ねていきたいと思っています。

平成21年度 首都圏北部4大学連合（4u）推進体制



下記の方が新委員です
(左図アンダーライン)

主査：和泉孝志
(群馬大学・理事)

副主査：馬場敬信
(宇都宮大学・理事)

委員：篠塚和夫
(群馬大学・教授)
伊藤正実
(群馬大学・教授)

事務局長：伊藤正実

4u 活動報告 (平成21年1月～6月)

昨年8月22日に、水戸市において4u関係者・支援機関が一同に介してキックオフ会議が開催されましたが、その後の各分科会活動等を紹介します。

◆ 全体・事務局の活動

- 4u活動の広報活動として、首都圏北部4大学連携ニュース(4uニュース)を創刊し、また、4uホームページを活用してきました。
“<http://www.ccr.gunma-u.ac.jp/4u/index.html>”
ホームページには、活動の紹介や各イベントの開催案内、開催結果等を掲載しています。



(4uニュース)



(4uホームページ)

- 3月10日、テクノプラザおおた・群馬大学太田キャンパスにおいて、首都圏北部4大学連合(4u)運営協議会及び有識者会議を合同開催し、平成20年度活動報告及び平成21年度計画について議事が行われました。有識者会議委員からは、今後の活動について「4地域、4大学、4県、4支援機関、そこに関わる企業による地域ぐるみで広域で展開すること。大事なことは、企業が事業にして結果が出ることであり、イベントを開催したことだけでは評価されない」等の貴重なご意見を賜りました。
- 4u活動推進、連携強化への取り組みとして、1月27日、文部科学省コーディネーターの「関東地区産学官連携情報交流会」に参加し、4u活動の報告を行うとともに他制度コーディネーターとの連携強化に関する意見交換やパネルディスカッションに参加しました。

◆ 地域ブランド創出分科会(主担当：茨城大学、副担当：埼玉大学)の活動

- 地域ブランド化支援のため、茨城地区の調査・発掘、外部の地域ブランド関連部門との意見交換を行いました。
- 中小企業の海外展開支援を目的に、3月3日、水戸市にて「アジア地域への海外展開セミナー」を開催し、大学、金融、企業から合計4つの講演を行い58名の方に参加いただきました。
大学からの講演は、群馬大学・須齋高教授の「4大学が有する海外とのネットワークを活用して欲しい」という大学の役割の一例の紹介を含めたものでした。



◆ 知財人材の教育・啓発分科会（主担当：宇都宮大学、副担当：群馬大学）の活動

1. 2月20日、宇都宮大学にて「知財実践セミナー」を開催しました。

山口大学・佐田洋一郎教授の「中小企業こそ知的財産権を武器に」と題した特許取得・活用までのノウハウを企業経営に生かすとの観点からの講演と、宇都宮大学・近藤三雄特任教授による「法改正に即した特許出願・権利化」についての講演を行いました。参加者は50名で、講演後の個別相談も行われました。



2. また、同日、佐田洋一郎教授と4大学のTLO・知財担当者による「大学における知財管理に関する意見交換会」も行いました。

◆ 技術移転分科会（主担当：群馬大学、副担当：茨城大学）の活動

1. 各県持ち回りで4大学のシーズを紹介する新技術説明会キャラバン隊を3回開催しました。

キャラバン隊は、関東経済産業局の支援を得て「産学官連携による首都圏北部技術移転等促進事業」の一環として平成19年10月に開始されたもので、戦略展開プログラム採択による4u活動としては第4回目以降となります。

- ・第4回を1月26日にさいたま市で開催し、85名に参加いただきました。
- ・第5回を3月10日に太田市で開催し、96名に参加いただきました。
- ・第6回を4月17日に小山市で開催し、80名に参加いただきました。



各回とも、大学のシーズ・新技術説明を5～6件、産学官連携事例発表を2～1件の構成とし、事例発表では産と学の双方の視点からの発表も行いました。

第5回で発表いただいた(株)アタゴ製作所と群馬大学の連携事例発表は、開発力の乏しい中小企業として生き残りをかけて産学官連携に取り組んだ背景や、これまでの実績が説明され、参加者からは「産学官連携を考える良い参考となった」との声をいただきました。

2. 研究室紹介・シーズ集（4u）Vol. 2 発行



技術移転の加速、産学官連携の促進等の活動推進を目的に、2月にVol. 2を発行しました。

群馬大学・茨城大学から各21研究室、宇都宮大学・埼玉大学から各20研究室的合計82研究室を紹介・掲載しました。2,500部を発行し、関係各機関や、新技術説明会などの各イベントにて配布していますので、ご活用下さい。

◆ 研究シーズ創出分科会（主担当：埼玉大学、副担当：宇都宮大学）の活動

1. 産学官連携の元で、明確なニーズを意識して研究シーズの創出に寄与し、イノベーションへと導くことを目的に、各大学における研究会開催内容の実態調査や、研究会方針の検討、研究会の企画・推進等を行いました。

2. 具体的な4u研究会として、2月18日に「医工農連携シンポジウム」を、群馬大学と前橋工科大学を幹事校として、4uと前橋工科大学の主催で、前橋工科大学において開催しました。

シンポジウムの参加者は110名で、企業関係、大学関係の他にも一般市民の方も参加され、医工農連携への関心の高さを感じました。



群馬大学・三國雅彦教授より「産業メンタルヘルスを巡る諸問題」と題した基調講演があり、パネルディスカッションの部では「医工農連携によるイノベーション創出と地域の活性化」をテーマに、各大学から計5名、企業から1名の合計6人のパネリストからの講演の後に、須齋嵩教授をモデレーターとして、熱心にパネルディスカッションを行いました。



■ 今後の4u活動計画

◆ 全体・事務局の活動

1. 4u運営協議会、有識者会議と連携し、広域組織の運営支援を目指した活動を推進します。
2. 4uニュースの発刊（2回/年）、4uホームページの充実を図ります。

◆ 地域ブランド創出分科会の活動

1. 地域ブランド創出に向けて、「地域ブランド」検討グループを新設し、まずは茨城地域のブランド化活動に参加するとともに、新たな地域資源の発掘や各地域の関係者の交流会等を企画していく予定です。
2. 地域ブランド創出支援のため、産学官連携事例報告会の開催及び産学官連携事例集を発行する計画です。
3. 中小企業の海外展開支援は、地域ブランドの海外展開にフォーカスして進めます。

◆ 知財人材の教育・啓発分科会の活動

1. 知財実践セミナーを開催します。
2. 弁理士チャレンジ講座を宇都宮大学で開講します。10月10日から毎週土曜日午後、4回の予定です。
3. 地域の連携大学等への知財教育プログラム支援を計画します。

◆ 技術移転分科会の活動

1. 首都圏北部4大学発新技術説明会を、7月14日・15日の両日、4uとJSTの主催で開催します。
2. 各県持ち回りの新技術説明会キャラバン隊を、10月に茨城で、1月に埼玉で開催予定です。地域の特性などを考慮したテーマ設定を行い開催する計画です。
3. 研究室紹介・シーズ集(4u)Vol. 3を、4uと連携している公私立大学を含めた形で2月に発行します。

◆ 研究シーズ創出分科会の活動

1. 本分科会の全体調整や推進計画の策定を行う「研究シーズ創出研究会」を立ちあげ、医工農商連携研究会など、具体的シーズ創出の研究会活動を開始します。
2. 本分科会は、首都圏北部を中心とした地域のイノベーションにつながる、研究シーズの創出・発信を狙いとしています。具体的なシーズ創出の研究会では、首都圏北部地域と一体となって取り組む予定です。

■ 4大学のトピック報告

■ 茨城大学 「産学官連携イノベーション創成機構」開設

茨城大学では、従来の共同研究開発センターとベンチャービジネスラボを統合、あらたにインキュベーション機能も取り入れた新組織「産学官連携イノベーション創成機構」を5月1日より開設しました。6月16日には、日立キャンパスにて、開設式典を開催し、産学官から多くのご来賓ならびに関係者約150名にご出席頂きました。



■ 宇都宮大学 「栃木県商工会連合会と社会連携推進協定締結」



宇都宮大学は、地元企業の技術ニーズを的確に把握する目的で、栃木県商工会連合会と協定を締結しました（平成21年5月20日）。栃木県内に39ある商工会に「宇都宮大学技術相談窓口」を設置し、商工会の会員から技術相談を受付けます。相談は、宇都宮大学コーディネーターに任命された商工会連合会の職員を通じて宇都宮大学に速やかに繋がります。これにより、技術協力や共同研究が大きく進展すると期待されます。

■ 群馬大学 「第5回群馬産学官連携推進会議」開催

6月22日、群馬県内の産学官連携の推進を図り、知的財産と産業の融合並びに地域の活性化に寄与することを目的として、群馬大学、前橋工科大学及び前橋商工会議所が主催し群馬産学官連携推進会議を開催しました。約400名が参加し、関係省庁等からの基調講演、「産学官連携拠点について」のパネルディスカッションが行われました。また、大学・企業等のパネル展示等も行われました。



■ 埼玉大学 「オープンフォトニクスセミナー」開催

埼玉大学と(財)埼玉県中小企業振興公社が連携し、地域の企業技術者の方々向けに光学、光技術に関するセミナーを5月20日を皮切りに合計8回開催しています。今回は7月17日(金)14:00~19:50、埼玉大学にて関連研究室見学及び懇談会です。詳細は、<http://www.saitama-j.or.jp/opto/opfs.html>